

海上輸送へのモーダルシフトの可能性について

四国地方整備局 港湾空港部
四国運輸局 交通政策部

(参考) 海上輸送へのモーダルシフトが考えられる品目の抽出

<着眼点①> : 陸上輸送(宅配便等混載/一車貸切/トレーラーと海上輸送(フェリー/コンテナ船/RORO船)の双方で輸送されている貨物(品目)

【抽出指標】: 陸上と海上の輸送実績がある貨物

<着眼点②> : 2010年から2015年にかけて、海上輸送(フェリー/コンテナ船/RORO船)が増加しており、モーダルシフトが推進されていると考えられる貨物(品目)

【抽出指標】: 2010から2015へ輸送量が増加している貨物

<着眼点③> : 海上輸送に優位性のみられる中・長距離(約500km以遠※)へ輸送されている貨物(品目)

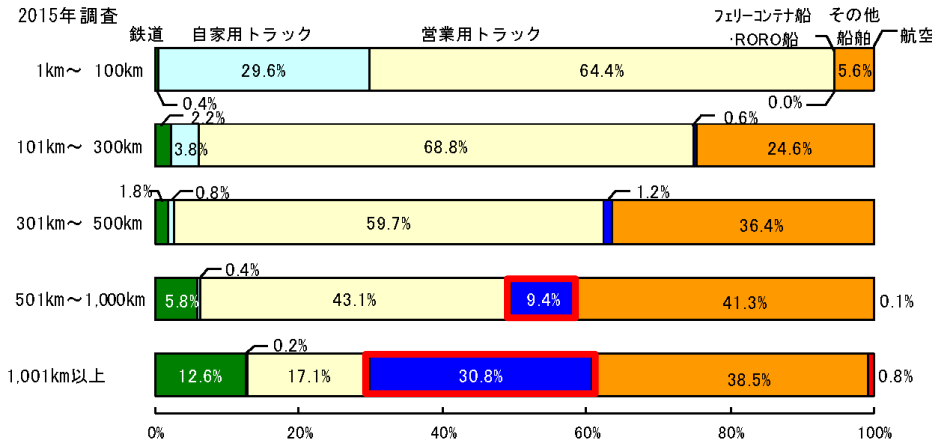
【抽出指標】: 北海道・東北・関東・中部への輸送量(概ね1,000ト>)が多く、シェア(概ね10%以上)が高い貨物

物流センサスの調査対象貨物 : 【85品目】

陸上・海上輸送の利用貨物 : 【36品目】

海上輸送へのモーダルシフトが考えられる品目 : 【15品目】

※輸送距離が500kmを超えると、フェリー・コンテナ船・RORO船のシェアが拡大する。

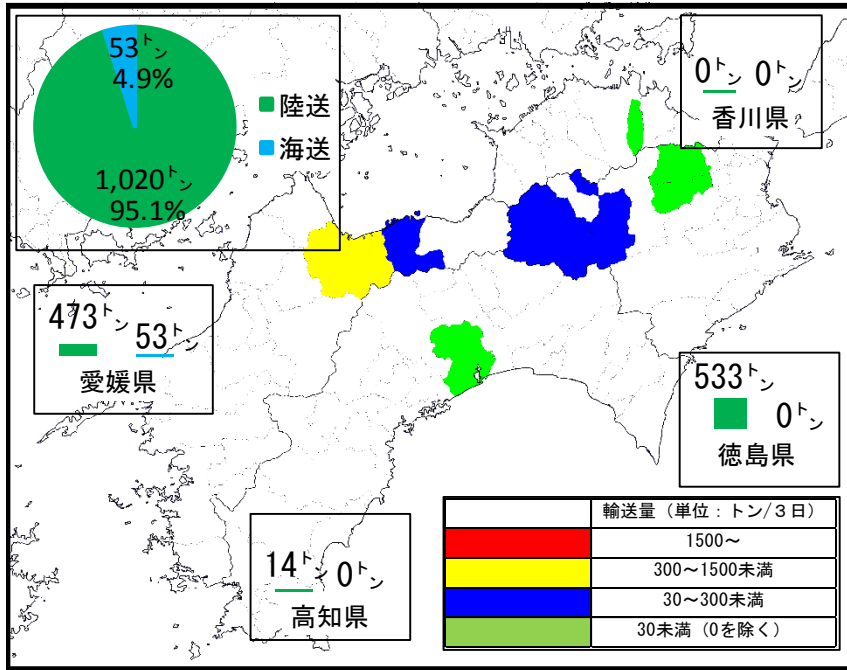


品類	品目
農水産品	①野菜・果物
鉱産品	②その他の非金属鉱物
金属機械工業品	③鉄鋼、④非鉄金属
化学工業品	⑤その他の窯業品、⑥化学肥料、⑦合成樹脂
軽工業品	⑧紙、⑨その他の食料工業品
雑工業品	⑩書籍・印刷物・記録物、⑪文房具・運動娯楽用品、⑫家具・装備品、⑬その他の日用品、⑭木製品、⑮その他の製造工業品

(参考) 検討品目ごとの貨物の流動特性【その他の日用品】

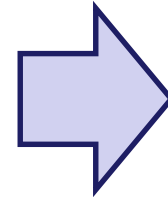
- 「その他の日用品」は、大半が陸送であるが、＜西条市⇒さいたま市＞では、海運の輸送量の方が多い。
- 関東方面へ着地の分布状況を見ると、フェリーの着港(東京港)から「さいたま市」への輸送距離内に、多くの貨物が輸送されていることから、「その他の日用品」は、海上輸送へのモーダルシフトの可能性がある品目である。

■ 四国発方面別の輸送分布 (例：関東方面)



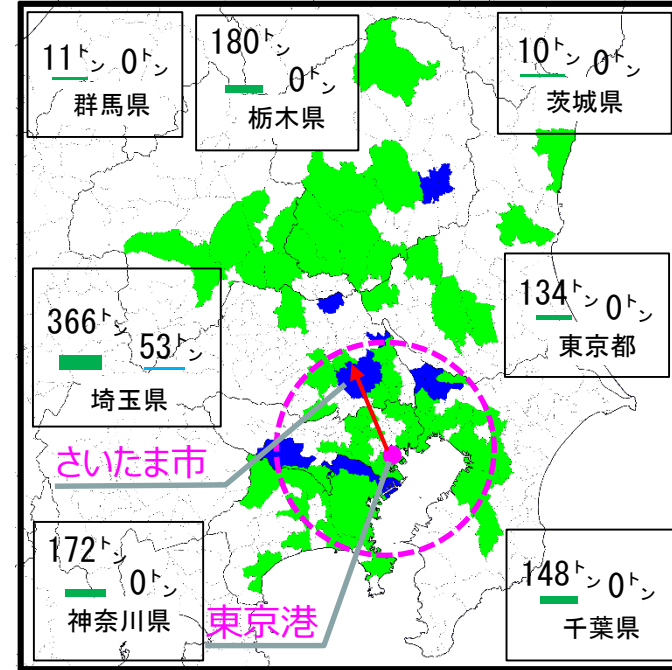
陸送: 1,020トン (95.1%)

陸送: 「宅配便等混載」「一車貸切」「トレーラー」の合計



海送: 53トン (4.9%)

海送: 「フェリー」「コンテナ船」「RORO船」の合計



■ 市町村別の輸送状況例

【発地】

愛媛県西条市

【陸送】18トン

例: 輸送時間: 19.5時間/件、輸送費用14万円/件



【着地】

埼玉県さいたま市

【海送】53トン

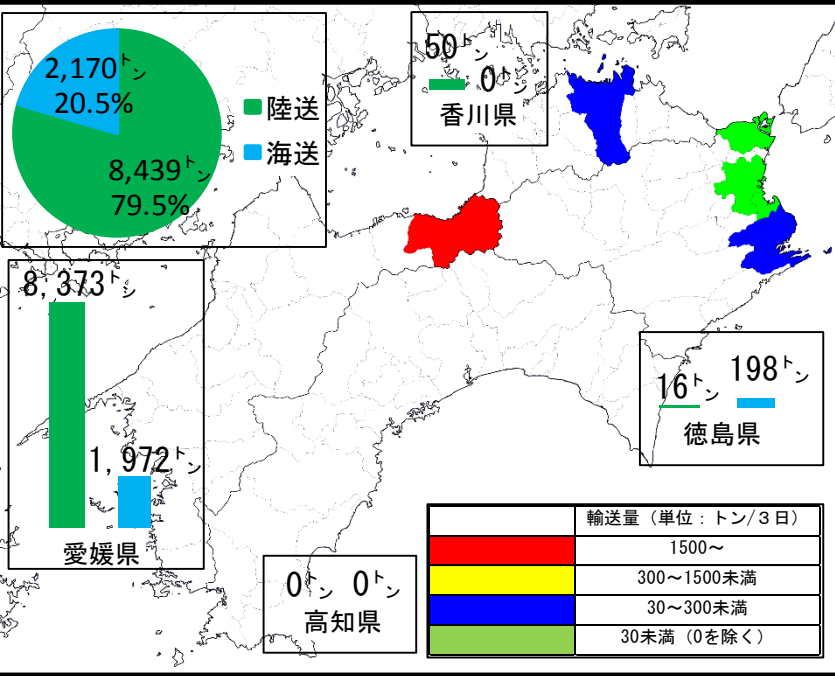
例: 輸送時間: 25時間/件、輸送費用17万円/件



(参考) 検討品目ごとの貨物の流動特性【紙】

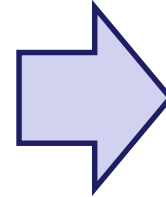
- 「紙」は、約8割が陸送(宅配便等混載、一車貸切、トレーラー)で、約2割が海送(フェリー、コンテナ船、RORO船)。
- <四国中央市⇒埼玉県>では、海運の輸送量の約5倍が陸送されている。また、輸送時間は、海送の方が多く要するが、輸送費用に大差はないため、「紙」は、海上輸送へのモーダルシフトの可能性のある品目である。

■ 四国発方面別の輸送分布 (例：関東方面)



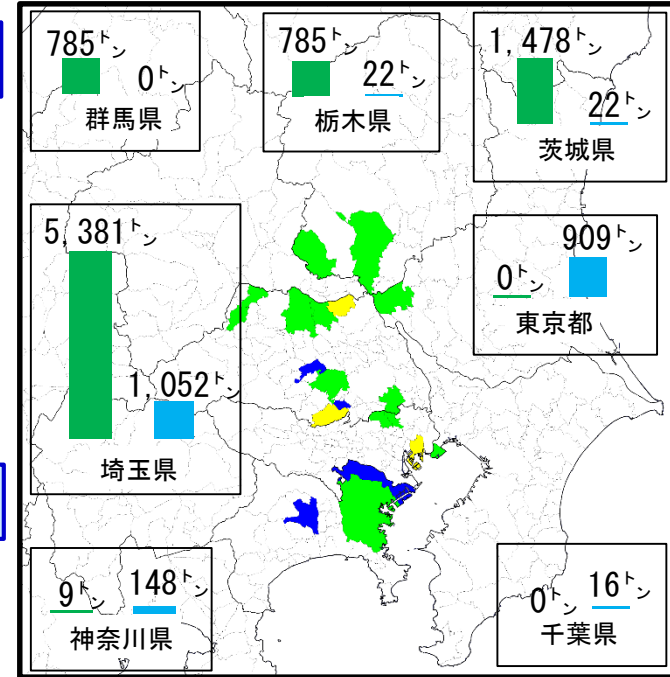
陸送: 8,439トン (79.5%)

陸送: 「宅配便等混載」「一車貸切」「トレーラー」の合計



海送: 2,170トン (20.5%)

海送: 「フェリー」「コンテナ船」「RORO船」の合計



■ 市町村別の輸送状況例

【発地】

愛媛県四国中央市

【陸送】5,331トン

例: 輸送時間: 12時間/件、輸送費用12万円/件



【着地】

埼玉県(羽生市、所沢市等)

【海送】963トン

例: 輸送時間: 44時間/件(三島川之江⇒千葉: 30.5時間)、輸送費用13万円/件

